

# 米倉教公の月間為替市場見通し

## 8月号

ドル/円予想レンジ 100.00 - 112.40 円

### 『大量の米国債償還・利払いに注意！』

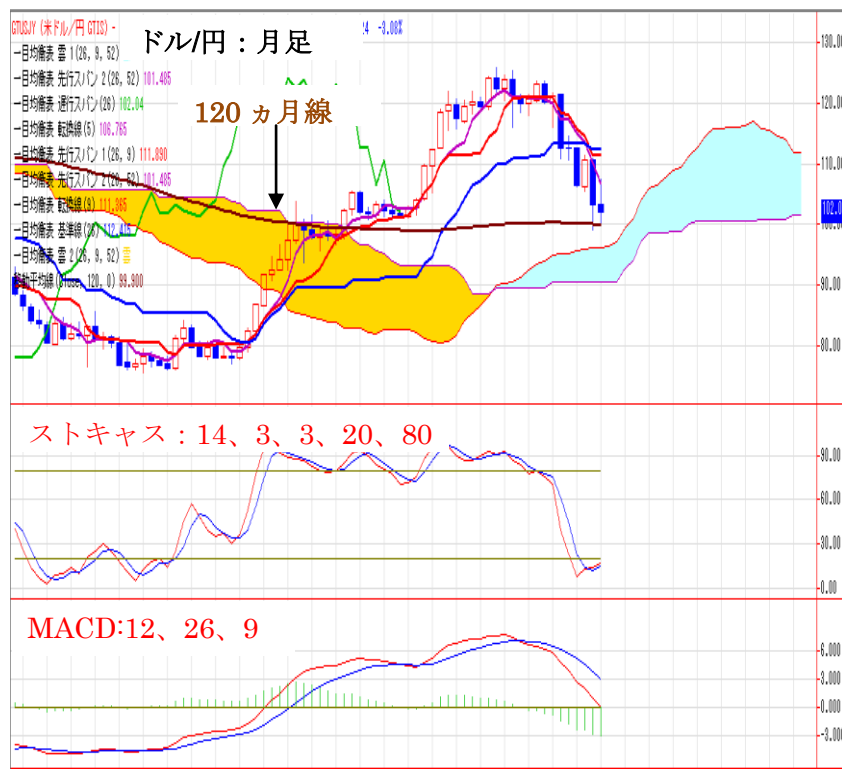
ドル/円の8月勝敗表

8月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	88.42	97.34	8.92	10.09%	陽線
1996年	106.81	108.85	2.04	1.91%	陽線
1997年	118.57	121.2	2.63	2.22%	陽線
1998年	144.75	139.2	-5.55	3.83%	陰線
1999年	114.53	109.62	-4.91	4.29%	陰線
2000年	109.32	106.66	-2.66	2.43%	陰線
2001年	124.95	118.75	-6.2	4.96%	陰線
2002年	119.81	118.3	-1.51	1.26%	陰線
2003年	120.55	116.89	-3.66	3.04%	陰線
2004年	111.05	109.1	-1.95	1.76%	陰線
2005年	112.63	110.6	-2.03	1.80%	陰線
2006年	114.61	117.42	2.81	2.45%	陽線
2007年	118.6	115.75	-2.85	2.40%	陰線
2008年	107.89	108.81	0.92	0.85%	陽線
2009年	94.77	93.13	-1.64	1.73%	陰線
2010年	86.32	84.18	-2.14	2.48%	陰線
2011年	77.15	76.64	-0.51	0.66%	陰線
2012年	78.1	78.36	0.26	0.33%	陽線
2013年	97.87	98.13	0.26	0.27%	陽線
2014年	102.78	104.06	1.28	1.25%	陽線
2015年	123.84	121.23	-2.61	2.11%	陰線
平均			-0.91	2.48%	8勝13敗

#### ★8月は米国債の償還・利払いに警戒

1995年以降の過去21年間のドル/円では、8勝13敗と始値から終値で陰線なることが多くとなっている。一方、値幅での平均値は9銭の円高となっている。値幅の平均は小さいように見えるが、変動率は始値から上下に2.48%の値動きとなっている。8月は総じて円高になりやすいのは、米国債の償還と利払いが要因となっている。ドルで支払われた分を円転することでドル売り・円買いとなるからである。ただ、現在日本はマイナス金利を導入していることから、円に変えずそのまま米国債で運用となる可能性もある。8月は陽線の年と陰線の年が連続する特徴がある。昨年陰線引けとなっていることから今年も陰線引けの可能性が高い。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



#### ★ドル/円月足では一旦の揺り戻し

一目均衡表月足チャートでは、7月下旬に開催された日銀政策決定会合の失望や米利上げ観測後退から下落したが、120ヵ月線(99.99円)が下値支持ラインとなり、ドル/円は一旦下げ止まった。このラインを下回るようなら雲の上限の96.13円が支持ラインとなりやすい。上値には転換線5の106.76円、転換線9の112.42円、基準線の112.41円が上値抵抗ラインとなりそうだ。MACD(パラメータ:12、26、9)では、ゼロラインの上方からデットクロスを継続している。一方ストキャスティクススロー(パラメータ:14、3、3、20、80)は、売られ過ぎ域から%Kが上向きとなってきた。注目点は、MACDのゼロラインが下値支持ラインとなるゼロラインリバーサルとなる可能性がある。条件はストキャスが上向きを維持して20%域から上昇するとその可能性が高くなる。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

## ★まとめコメント

8月は上記でも述べたように円高になりやすい月となっている。また、同月は日米ともに金融政策会合はなく、米国の利上げ観測や日銀による追加緩和策などの思惑は、9月まで思惑として市場を駆け回ることになる。さらに、8月は市場参加者の多くが夏休みとなり、流動性を欠く状態が続く。そのため、変動材料が浮上すると予想外の変動幅となる可能性が高く注意が必要だ。原油価格がジリジリと下落基調となっているが、再び40ドル割れとなると、必要以上にメディアが騒ぎ立てることで、リスク回避の動きが強まる可能性が出てくる。豪・英・NZ中銀の金融緩和も円高要因となりやすい。また、米国大統領選は不透明感が強く、心理的にリスク回避の動きにつながりやすい。一方で、アベノミクス第3幕を開始するにつれ、円高に対しては政府要人達からのけん制発言が出やすい。英国のEU離脱決定の際も、一時的には100円割れとなったが、自然治癒的に為替が円安方向へと戻った。それだけ、100円割れのところでは、投資家や実需筋からの買い需要もあるということになる。テクニカル的には月足の120ヵ月移動平均線や一目均衡表の雲の上限が下値支持ラインとなるかが注目されるところだ。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の

信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。